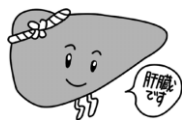


健康メモ

肝炎ウイルス検診を受診しましょう



市では、平成19年度基本健康診査と同時に「肝炎ウイルス検診」を実施します。

この肝炎ウイルス検診は、平成14年度から5か年の予定で開始され、平成18年度に終了する予定でしたが、肝炎緊急対策として今年度も引き続き実施することになりました。

【対象者】

基本健康診査を受診する方

- ① 40歳の方 S42.4、2 S43.4、1生
 - ② 41～75歳の方 S7.4、2 S42.4、1生
- で肝炎ウイルス検診未受診者
- ※ただし、現在C型肝炎、B型肝炎を治療中の方、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことのある方は対象外となります。

①②の肝炎ウイルス検診の対象となる方には総合健康診査受診票と一緒に青色の受診票を郵送しました。

また、76歳以上の方でも、左記に該当される方は対象としていますので、検診前までにお申し出ください。

- ・過去に肝機能異常を指摘されたことのある方、広範な外科的処置を受けたことがある方、多量に出血したことのある方で、定期的に肝機能検査を受けていない方

【検査内容（血液検査）】

C型肝炎・B型肝炎（HBs抗原

検査

【肝炎ウイルスによる病気の特徴】

肝臓が炎症を起こし、肝臓の細胞が壊れて働きが悪くなる病気を肝炎といいます。原因のほとんどが肝炎ウイルスによるものとされています。日本人に多いのはA型・B型・C型の3種類です。A型はウイルスに汚染された食物や水の摂取により経口感染します。B型・C型肝炎は主に血液により感染します。

●C型肝炎

C型肝炎ウイルスに感染しても多くの人は無症状のままの状態が続きます。その後、慢性肝炎に進行する割合が高く、一部の人が約20～30年かけて肝硬変や肝がんへ進行するといわれています。

●B型肝炎

一過性の感染では、1～6か月を経て急性肝炎を発症します。病状はさまざま、まったく症状の出ないまま免疫の出来てしまう人もいれば発熱や黄疸などが現れる人もいます。

検診の結果、肝炎ウイルスに感染していた場合には、肝臓の状態を十分把握できるよう専門医の診察を受けましょう。

〔健康管理課 保健師〕